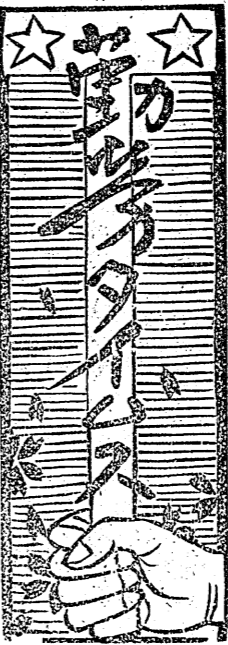


旬刊



毎月二回 日一五日発行  
定例 一冊 五十銭  
一冊 二十銭  
一冊 十銭  
郵務局 郵便局  
印刷所 印刷所  
支局長 菊池 高 位

年頭の辭

支局長 菊池 高 位

颯風走りて西風柳引き東天昇り波静かなる初春を迎ひ讀者諸君と共に過去一年を振り返りて見る時終戦と共に幣原内閣出現せるも財閥内閣として各政黨一丸となり倒閣運動はげしく倒閣の運命に落入りたる時に聯合軍の命令にて東條初各軍閥及財閥は眞鴨刑務所入となる其新鳩山内閣出現寸前に追放令で流産現在の吉田内閣出現、今日に至る其の間に世相は如何に變りたるか其の一例を思ひ出でて見よう、東條は短銃横腹を打直ねをした近衛は毒で死んだ、松岡も死んだ、大川は氣が違つて獨病院入、社會では食糧問題で嵐の様相其の内共産黨のオンド取りで宮城内に侵入聯合軍は言論結社、報道の自由を許され、思想犯の釋放、財閥、軍閥の一掃並に財産凍結、各軍協力工場管理、新議員の選挙、自由、進歩、社會各黨の議員の差近少で社會黨進出大なり、新憲法發布供出米に強権發動、農民組合運動の進展、労働運動の進展と共に國鐵労働内部不統制のためスト前に一時未解決、第二全國海員組合の海外引揚船一切スト断行のため全要求貫徹、第三電氣産業労働スト宣言するや中勞員乗出す、全要求貫徹に猛進、第三全教員組合二派となりて政府に要求中に電産要求中の電氣事業の民主化は全國民と公約のため目的貫徹のためスト断行寸前に於て事業民主化實現と共に要求貫徹す、續々教員組合と全教職との不統制のため今年に持越紙幣證紙ハリ全國民の五百圓生活實施、舊圓と新圓交換、食糧不足に對する進駐軍食糧放出、郵税引上、煙草の引上げ食糧一合七勺より二合五勺に引上、代用食糧ナツマ配給、各労働組合は五百圓の枠をはずせと全教組一本建となり文部省要求第四國鐵労働再要求で今年持越、第六全官廳労働組の要求も持越となる時時野黨各派共同となり無政策無能吉田内閣打倒引下げ社會黨協民黨國民共産黨合同倒閣國民大會開催と共に各労働組合流閣運動に進行中に平塚運輸大臣追放自由進歩各代議士數十名の追放擴大中全國内の戦前の指導者達の追放令も擴大し三親追放と今後公職は元より政治運動の黒幕にもなれざる事にて今明日迫れる各倒閣運動と教組、國鐵、全通信、全官廳労働組ゼネスト決行宣言を政府に宣告した、共同倒閣運動の此の時吉田内閣如何に各一年の世相は走馬燈の如し、初春の日短かき時今後世相を讀者諸君に依り當社日淺きに拘らず近く知事公選縣會町村會町村長と選挙も世相と共に變る時に言論と報道陣を我社の生命とし我等の民主日本建設の基礎とし我も社の基礎とならむ。

謹賀新年  
平市五丁目  
釜屋商店  
會計 諸橋元三郎  
電話九・九九番

救國の網は物資増産

生産に影響するゼネストはさげよ

我が國家の經濟は終戦と同や収入は枠内に止まり急時に行詰まりを見て追々其天をつく物資を追ふ事出來るに加へて來たが二十一年す、依て茲に生活の危機をの半よりますます深刻とな生む事になる、此危機の源り經濟の危機は三月と一般動力は取りも直さず物資の國民の聲だが吉田首相は此不足にある事明かである、國民の聲聞ひてか元日の挨拶然らば此危機を解消するに抄の内に織込んだ言葉に我は物資増産に外ならない事日本も七轉び八起で起きは知り切つて居るにも拘は立つ時代も遠くはあまいらず、日本國民は増産と従來の日本と今日の日本はるか生産も忘れてストゼネ變つてを、日本國が轉ぶストを本文とする者何れのと云ふ事は經濟の行詰まり業面も等く依て日本國民はから國民が生活に困る事を自から危機を招き動々志國指したもので亦起ると云を導びく恐れある國民よ救ふ事は經濟の幸福なる平和國の念を以て生産に影響ある時代を構成して國民が安んぜネストは止めてほしい全地帯に居らるゝ事を云ふとの一言あつた、斯の如き然るに目下の日本國は限り一言を信する者は已れの利あるせまい國土へ廣範なるをほしいがまゝに國家危機諸國に居る國民は皆引揚げの谷々をどさざる様眞に救てくる之に伴ひて物資の量國平和を旨に進むべきである必要となる、依て物資のるまいか不足より價格があがる、片

縣水産業會長  
鈴木 木 賢 二  
四倉 農 業 會  
四倉 町

### 變つたぞ

#### 平市内の各商店の終戦型

正月二日は大賣出しで何れも居たが其の他の平市全の都市町村の各商店も朝十商店は舊來の商業振りを忘

#### たよる瀬のない

#### 自由勤勞者

各商店でも一番客をいさ付勤勞者の聲、所謂各部門の御祝品を澤山與へると云ふスト、ストライキ等を引く慣習で近在地方の人々はよ起し何れの労働面に於ても鳴物入りで客を呼び大道奏として巴々頭角を現し種まじと店を張出し何所の々なる課目を擧げて、職場市町村でも一ヶ年の賣始めに要求するまではよか

如きは甚だしくも今日休業話の中、國鐵は汽車を止る看板を下げ板戸を閉めて、電産勞組は停電する居る商店も少なくなかつた、が如き巴々の職場を武機と他の商店では昨日まで品してはしいがまのゼネス物ありましたが今日となつトストライキを起し居るがては賣品ありませんとて大獨り自由勤勞者は遺憾乍ら切な正月二日の大賣出しの勞組の組織無き爲め後援的當朝に知らん顔して居る商背蔭を持たつ、依てビネス店もありと云ふ状態、平市トとなるか寧ろ自由勤勞者中で只一店白銀町の川又商ありとは社會も之を認めざ

れてか然かも店を閉めて宜僚振り、今年の正月は賣出し罷りならんと其筋から御目玉が有つたのか亦是れが終戦型の新日本建設の前哨なのか何か何んだかわから

四倉警防團長 片寄留松	四倉漁業會 會長 長谷川長太郎	大野村役場 村長 西山惠一	四倉警長 佐々木濱治	柏屋旅館 小港正	旅館 海氣館	鈴木屋旅館	石城郡四倉町 磐城セメント株式會社 四倉工業所	石城郡四倉町 石城郡四倉町蜷川一二 有限會社 四倉造船所 取締役社長長谷川周一郎	福島縣石城郡四倉町 萬年瓦工業 株式會社 電話三八番
----------------	--------------------	------------------	---------------	-------------	--------	-------	-------------------------------	--	-------------------------------------

かるい御食事と喫茶 氣分の良い別室で <b>新 扇屋</b> 平市田町一番地 電話八四五番	リツクサツク 雨ヨケ 暗幕 諸カバン 附屬品揃つて大勉強 <b>敷島テント店</b> 平市六丁目	リツクサツク 雨ヨケ 帆布地 諸カバン 附屬品上等揃つています <b>守山天幕屋</b> 平市五丁目平醫院前	和洋帳簿 紙製品 小間紙 文具 事務用品 <b>尾張屋商店</b> 福島縣平市五丁目 電話九四七番	平市大町 <b>永山洗濯舗</b> 舖主 永山眞一彦 電話六〇六番	産婆 <b>萩野マサ</b> 電話七八六番
---	--	--	--	--	-----------------------------

### 轉石に苦つかず

我が國家も押すやら引くやら  
かつぐやらでコケつく心配なし

支那事變より大東亞戰時代は、實業一本立ての外政黨政治罷り成らんとす。嚴重なる置手が廻り依て我が國は實業の上に獨り坐して國家國民の押し引きかつぎ苦がついた、然るに平和の日本の今日では各部門や業面の組合を武機とする各黨派は極めてうるさく國家政治に口を出し手を出し内閣打倒目指して社會黨の抱込みみどか連立内閣反對だとか又一方では連立内閣支持を叫び吉田反動内閣だとか、敗戦日本の責任だなど國家政治を押し引いたりかづいたりして先づ間斷國家をゆるがして國民はよろこんで居る今日は全く共によろこぶべきだ、之では國体にコケつく心配はない、國家がおだやかなればこそ政治を玩具に弄して居らるゝが若し國家に大事があれば斯の如き遊びは出来まいこう考へる秋愈々國家も平和にして安泰である事を物

<p><b>東北配電</b> 四倉電業所 主任 蓬田守之助 主任 七海武雄 會計 山野邊爲一</p>	<p>久之濱町役場 町長 鈴木茂平 助役 鈴木公十 収入役 新妻啓三郎</p>	<p>久之濱町會議員 皆川俊太郎 吉田賢次郎 國玉松藏 遠藤藤登 新妻久五郎 新妻拾五郎 佐々木系平 片寄長次郎 北郷藤太 高木好之助 新妻雄一</p>	<p>久之濱町定置漁業 柳内漁業部出張所 代表者 柳内義春</p>	<p>有限會社 久之濱燒竹輪製造 代表 橋本宇三郎 電話二一番</p>	<p>久之濱漁業會 會長理事 高木好之助 理事 高木好之助</p>	<p>石城郡四倉町字峴川 福島縣水産業會 會長 鈴木賢二</p>	<p>興亞工業合資會社 社長 江口勇 石城郡四倉町字頭</p>
<p>理事 新妻雄一 同 橋本宇三郎 同 木村善五郎 同 根本清三郎 同 大内福次郎 同 大谷福太郎 同 渡邊清六 同 鈴木富太郎 同 北郷藤三郎 同 柳内義一</p>	<p>同 橋本順次郎 同 古川次郎 同 橋本順次郎 同 古川次郎 同 橋本順次郎 同 古川次郎 同 橋本順次郎 同 古川次郎</p>	<p>同 志田芳一 同 松塚俊男 同 武久子</p>	<p>久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町</p>	<p>久之濱町農業會 會長理事 新妻定藏 專務理事 志田勝義 理事 橋本藤次郎 同 新妻久五郎 同 遠藤淺吉 同 佐々木系平</p>	<p>久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町</p>	<p>久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町</p>	<p>久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町 久之濱町</p>
<p>理事 遠藤與平 同 遠藤六三郎 同 木村芳陽 同 古川三太郎 同 新妻房良 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>	<p>同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎 同 皆川俊太郎</p>
<p>職員計 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>	<p>同 坂本秀夫 同 北郷藤次郎 同 渡邊啓 同 酒井清 同 熊木惣二 同 鈴木公十</p>

公職追放のつるたぐり

三親等に及ぶ

公布實施の公職追放令に依つて捨てて武士は其跡を消せば元成は軍閥政閥財閥と滅すべきであるまいか、櫻り始りうら成り中央公職地捨て、外に平和を求めよ武方公職となり飛びはなれて土を消して外に威人となる市町村の長たる者、市町村へきた、  
長は勿論町内會部落會長迄國を背負つた山櫻今は原子破吸したが、今度は軍深關のあれに散れ  
の會社商店二萬部以上發行國を背負つた大和武士今は部數の月刊新聞も該當亦其原子のあれにはて  
面に依つては三親等にまで櫻散れ武士威した後こそ眞及ぶとの勅令だが、之を以の平和となり諸國と交る  
て追放該當者のつるたぐり  
となるだろう、何れにして  
も今度の戦争に當つて軍事  
的行動や其助成と便宜に勤  
めた者と其機關的具體の物  
者をして追放該當とするも  
のである限り日本國民の誤  
りを改むるに外ならず眞の  
日本國を愛する國民は進ん  
で自己の追放的非を申出で  
べきであると信ず、何と成  
れば國民を擧げての今日の  
苦しみは何ぞ、戦争の生ん  
だ不幸に外ならず、常に國  
民は口を開けば花は櫻木人  
は武士と申して居たが、是  
れが今日の誤りの發源地で  
ある事を論り櫻木は皆目切

縣下供出米の状況

辛じて八〇%

年内十二月の縣農會の調べに依れば縣下を通じて供出米の成績は實に良好で八〇%供出済み、此分では約束の配給量完遂は勿論副食物を主食に何らす事も或はは解消の期も遠くあるま

**新設**  
**石川洋服店**  
平市銀座通り  
電話九五八番

謹賀新年

平地區民主電力協議會 縣聯合副委員長 平地區委員長 佐藤三平	縣聯合會常任委員 平地區副委員長 四倉地區委員長 菊池高位	平地區副委員長 植田地區委員長 馬上一	幹事 芹澤政資	同 鈴木傳兵衛	常任委員 安田久藏	委員 佐藤三郎 江川鋼太郎 木下錦司 高木二郎 吉田二郎	四倉地區民主電力協議會 委員長 菊池高位	副委員長 馬上一	委員 岡田千早 本田辰吉 早川雅衛		
委員 酒井清	赤井曹製塩所 片岡兵七	根本正雄	山崎秀一	日本製塩會社 委員長 馬上一	副委員長 大昭炭礦 中村源三	監事 赤津平男	星初太郎	箱崎義一	佐藤勇助	大日本炭礦 三松炭礦 品川黒田炭礦 大昭炭礦 吳羽紡織 協和織造 佐藤鐵工所	劉野野製材 中野野製材 星野製材 小野製材 金成製材 秋山藏之助

鳴友太郎  
星本淺次郎  
坂本次郎  
平地區委員  
日本製塩  
馬上一  
三松炭礦  
中村研一

四倉地區統制組合代表  
芳賀實  
佐藤直之助  
寺岡章  
四倉丸通運送株式會社  
代表  
佐藤眞之助

セメント死の御用命は信用ある吾が社にガス溶接の整備を急いで居ります、出張請負の御用命もうけたまはります。

有限 共榮合作坂本興業所  
社長 坂本豊  
事務所 石城郡大浦村上仁井田常磐線四倉驛徒歩七分

佛具品 佛壇 佛位碑 佛金物類 造花調製

常磐線平市本町四丁目

**山光堂商店**  
電話五五〇日

酸素機具一般  
タップダイス工具一式  
メタル、ブロー、シャフト類  
機械と工具専門

會社 佐藤鐵工販賣部

營業所 平市四丁目マルトモビル  
工場 平市月見町  
電話平二四、三六二、七三一番